

2015年6月18日
郵船ロジスティクス株式会社
株式会社松田技術研究所

郵船ロジスティクス・松田技術研究所

物流技術の共同研究開発を開始

郵船ロジスティクス株式会社（東京都港区 代表取締役社長：倉本博光 以下 YLK）と株式会社松田技術研究所（東京都板橋区 代表取締役社長：松田真次 以下 MRD）は物流技術の研究開発を目的に、共同研究開発契約を締結しました。

契約の対象となるのは、YLK が海上、航空、陸上輸送時に貨物の品質を保つために活用する防振、免震、断熱などの技術で、独自の容器や梱包資材などの開発が予定されています。お客様の輸送ニーズに合わせて YLK と MRD が共同で研究開発を行い、その製品を使用した輸送サービスをご提供します。

サプライチェーンがグローバル化する中、外的環境（振動や温度）に左右されない輸送ニーズが高まっています。MRD の技術力、製品開発力と YLK の輸送サービスを組み合わせ、物流技術の確立に努めていきます。

■本件に関する問い合わせ先

お客様	報道関係
郵船ロジスティクス 総合開発営業部 SCM ソリューション課 島村 TEL：03-6703-8178	郵船ロジスティクス コーポレートコミュニケーション部広報課 青木 TEL：03-6703-8231
松田技術研究所 本社開発部広報担当 江坂 TEL：03-3965-3821	松田技術研究所 本社開発部広報担当 江坂 TEL：03-3965-3821